

車池ハザードマップ

車池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

いざというときは

- 避難は可能な限り浸水が始まる前に
- 動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- 必ず徒歩で！足下に注意して避難
- ため池直下（0.5～3.0mの水深予想）：速やかに高台へ
- ため池直下以外（0.5m～2.0mの水深予想）：建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難

地震のあとの災害シナリオ

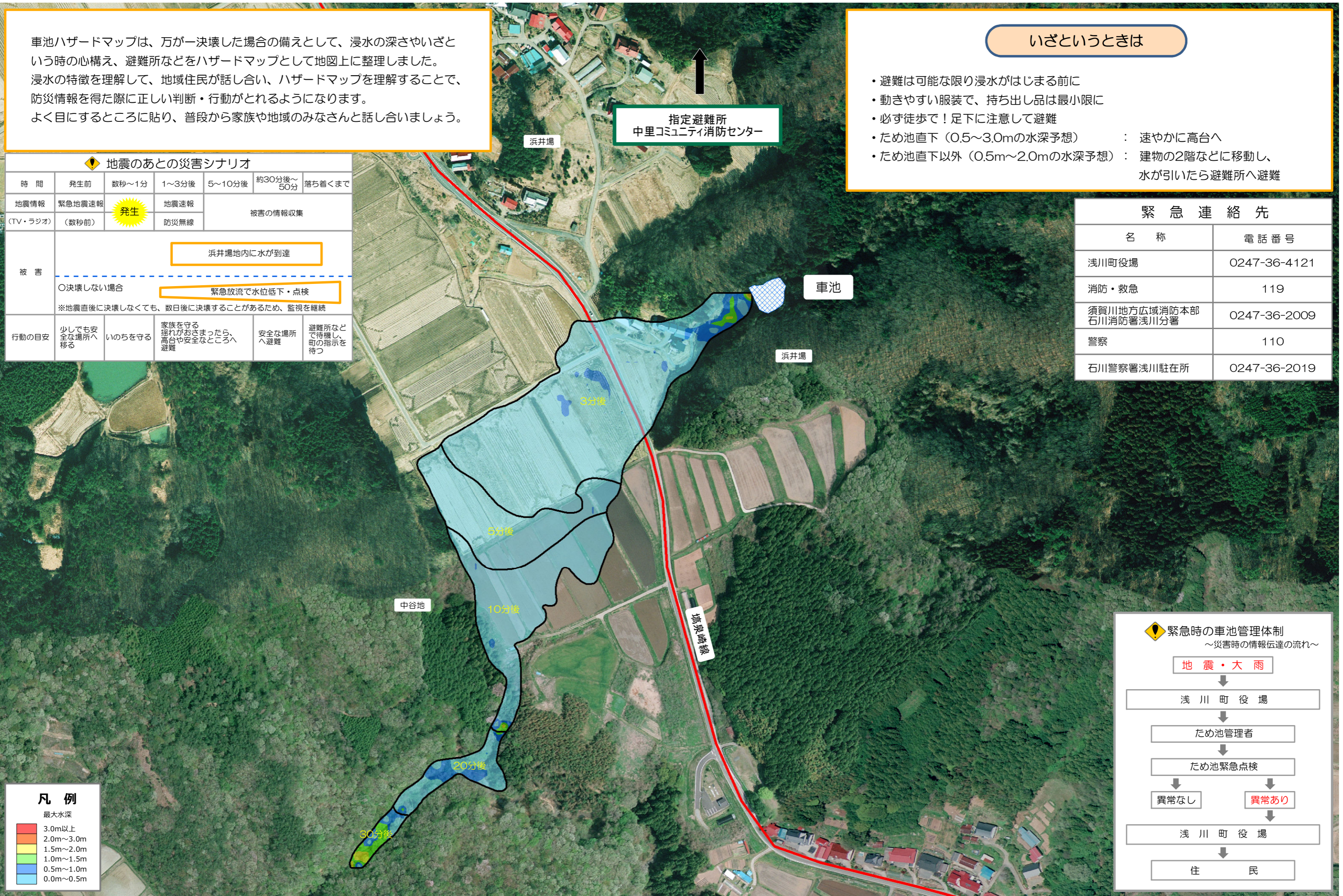
時間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分	落ち着くまで
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報 (数秒前)	発生	地震速報 防災無線	被害の情報収集		
被害	浜井場地内に水が到達					
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る 揺れがおさまったら、高台や安全なところへ避難	安全な場所へ避難	避難所などで待機し、町の指示を待つ	

○決壊しない場合 緊急放流で水位低下・点検
※地震直後に決壊しなくても、数日後に決壊することがあるため、監視を継続

凡例

最大水深

3.0m以上
2.0m～3.0m
1.5m～2.0m
1.0m～1.5m
0.5m～1.0m
0.0m～0.5m



緊急時の車池管理体制 ～災害時の情報伝達の流れ～

